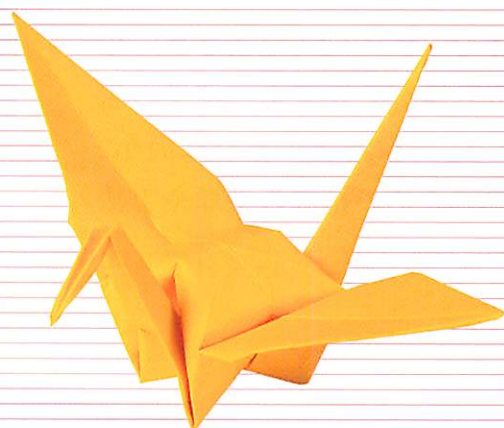


開隆堂が目指す これからの英語教育

～基礎学力向上のために～



1. 小学校英語とのスムーズな橋渡し
2. 基礎・基本の徹底を重視
3. 自己発信型のコミュニケーション能力育成

「増える授業時間と単語数を生かす授業」で自己発信能力の育成へ

平成24年度から、中学校では新しい学習指導要領に基づく授業が始まります。これは、平成23年度から小学校で必修になる「外国語(英語)活動」が前提になっています。

従来の「週3時間」の授業時数が「週4時間」に増え、「900語程度まで」の単語数も「1200語程度」に増えます。このねらいは、4技能(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと)の「総合的な育成」によって、基礎的な英語による「コミュニケーション能力」を生徒に身につけさせることにあります。つまり、英語による「自己発信能力」を生徒に獲得させるためには、今まで以上に先生方の創意工夫と適切な指導が求められます。

これからは、英語の基礎・基本をバランスよく定着させ、生徒の「自己発信能力」を育成する指導が必要です。授業の組み立て方にまだ不慣れな先生方でも、教科書の流れに沿うことで、「自己発信」ができるようになるための指導の手順や手法を自然に体得できる教科書が求められます。



東京国際大学教授 新里眞男

1. 小学校英語とのスムーズな橋渡し

平成24年度から中学校に入学してくる生徒は、「外国語(英語)活動」を通して、英語によるコミュニケーションに対する「一定の素地」が育成されています。しかし、その実態は多様です。そこで中学校教師には、特に入学時から間もなくのあいだ、個々の生徒の実態を十分に把握した上での適切な指導が求められます。

開隆堂は、小学校で使用されている『英語ノート』を文部科学省と協力して編集しました。全国での使用開始に先がけて、完全対応『指導ハンドブック』、『授業指導書パーフェクト版』を発行しました。小学校での「外国語(英語)活動」を熟知しているからこそ、中学校英語へのスムーズな橋渡しができるノウハウがあります。



2. 基礎・基本の徹底を重視

新学習指導要領は、中学校を卒業するまでに到達してほしい技能を例示するとともに、「基礎・基本の徹底」を強調しています。

外国語の習得には、「習得→習熟→活用」のプロセスが必要不可欠です。「習熟」には、芸術や武道などと似た「型」が大切です。「型」とは決して文構造を示すことではなく、できるだけ身近な状況での短いスキットを示すことです。このスキットをくり返し音読し、覚えて使ってみることで、言語材料が自然な場面でどのように使われているのかを理解することができるのです。

以下に助動詞canを導入するための例を挙げましょう。

A: Cool! Is this your guitar? (かっこいいね! あなたのギターですか?)

B: Yes. (そうだよ。)

I practice it every day. (毎日練習してるんだ。)

Now I **can** play it a little. (今では少し弾けるんだよ。)



このように、状況がわかりやすくシンプルな文脈を示せば、助動詞can(～できる)のニュアンスや使い方がわかりやすくなります。このスキットを練習したあと、「Bはギターが上手ですか」などと発問して、内容を広げることもできます。

3. 自己発信型のコミュニケーション能力育成

新学習指導要領では「与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること」、「身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと」などのように、“自己発信”が重視されています。また、新しく「日本人の日常生活…(中略)…、歴史、伝統文化や自然科学などに関するものの中から生徒の発達の段階及び興味・関心に即して適切な題材を変化をもたせて取り上げるものとし…」とあります。

自分のこと、身の回りのことを発信することからはじめて、身近な日本の文化を積極的に発信できるコミュニケーション能力の育成を開隆堂はご提案します。

日本の伝統文化の紹介例

- ・折り紙
- ・料理のレシピ(広島風お好み焼き)など
- ・地域の祭り
- ・回転寿司の起源
- ・日本の世界遺産
- ・てぬぐいや風呂敷を説明する



デジタル教科書も充実しています!

開隆堂では、電子黒板でご利用いただける指導用デジタル教科書を発刊しています。従来はピクチャーカード、フラッシュカード、音声CDなど多くの学習材を使っていたご授業が、CD-ROM 1枚でできるようになりました!

平成24年度にはさらに便利な機能を充実させて発刊の予定です。どうぞご期待ください。

PROGRAM 1 パーティーで英語を話す。 Return

1-1 英語の表記のルールを知りましょう。

6. 文字の終わりにピリオド(.)をつける。

1. 文の始めは次文字。 2. () はカンマと呼び区切りのところにつける。

Hello, I am Yuki.

3. 「私」を表す I はいつも大文字。 4. 単語と単語の間は少しあける。

5. 人の名前は大文字で始める。

click /

click /

click /

本文の再生スピードは「遅い」「普通」「速い」の3段階

本文全部の音声を再生します

この登場人物の音声だけを再生します

この文の音声だけを再生します

英文のみ、訳例つき、新出単語の表示を選べます

マウスで線を自由に書くことができます

文字を書き込むことができます

次のページに進みます

Volume 5/10 Play All Speed 遅い 普通 速い Display 英文 訳例 新語

書き込み

線の太さ

線の色

消

黒

pages 1/3

Book: 14~15p KAIRYUDO

SUNSHINE ENGLISH COURSE 完全準拠

スクール版CD-ROM デジタルチャート&フラッシュカード 各学年42,000円(本体40,000円)

[中学校外国語科教授用資料] AA



開隆堂出版株式会社 <http://www.kairyudo.co.jp>

本社 〒113-8608 東京都文京区向丘 1-13-1
 TEL. [代表] 03-5684-6111 [編集] 03-5684-6115 [営業] 03-5684-6121. FAX 03-5684-6122

北海道支社 〒060-0061 札幌市中央区南一条西 6-11 札幌北辰ビル 8F TEL.011-231-0403

東北支社 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町 1-11-1 萩野町 Mビル 2F TEL.022-782-8511

名古屋支社 〒464-0802 名古屋市千種区星が丘元町 14-4 星が丘プラザビル 6階 TEL.052-789-1741

大阪支社 〒550-0013 大阪市西区新町 2-10-16 TEL.06-6531-5782

九州支社 〒810-0075 福岡市中央区港 2-1-5 FYCビル 3階 TEL.092-733-0174